

ホタルの観賞が楽しめる  
「ホタルの夕べ」開催

養沢活性化委員会では、養沢川にホタルが自生できるような活動を行っています。ホタルが見られる好時期に「ホタルの夕べ」を開催します。

▽日時 7月7日(日) 午後6時30分～8時40分

▽場所 養沢センター(養沢29001)

※駐車場の場所は、申込み後に案内します。

▽内容 ホタル観賞、その他各種イベント

※開始前に、会場内で地元新鮮野菜などを販売する「マルシェ養沢」を開催します(午後4時～6時)。

特定外来生物  
クビアカツヤカミキリの  
駆除にご協力ください

クビアカツヤカミキリ成虫

クビアカツヤカミキリは、サクラやウメ、モモなどの樹木に寄生し、枯らしてしまう外来種の昆虫です。被害が急速に拡大し、昨年度は五日市地区でも成虫を確認しています。

自宅や所有地にサクラやウメ、モモなどの樹木がある方は定期的に確認していただき、虫や被害木を発見した方は連絡をお願いします。

後4時～6時)。マルシェのみの立ち寄りも可能です。

▽定員 70人

▽費用 千円(お菓子・飲み物付き、未就学児は無料)

▽主催 養沢活性化委員会

▽申込み方法 7月1日(月)までにファックスかメールで申し込んでください。

▽申込み・問合せ 養沢活性化委員会 田中(☎595・1009、✉makoro5373@yahoo.co.jp)

▽担当課 商工振興課商工振興係

ドラマ・CM撮影などに  
使用できるロケ地を  
募集しています

市では、市内でのロケを誘致するためロケ地を募集しています。自身が所有している場所、ドラマやCMなどの撮影に向いていると思われる場所がありましたら、連絡してください。市

※捕獲した場合は、その場で処分をお願いします。

▽成虫の特徴 6月から7月頃が、発生のピーク。体長4センチ前後で、光沢のある黒色で胸部(首部)のみ赤色、触覚は体より長い。

▽被害木の特徴 5月～9月にかけて、サクラやウメ、モモ、スモモなどの樹木から、幼虫の糞と木屑が入り混じった茶色いひき肉状のフラスが排出され、根元に溜まります。

▽よく間違われる昆虫

●ムネアカクロハナカミキリ：体長2センチ以下、触覚は体より短い。

●ベニカミキリ：体長2センチ以下、全身が赤い。

●ヨコヅナサシガメ：カメムシのなかま。体長2センチ前後で頭部が細長い。羽化した

内のお店、工場、空き家、病院などの物件や、畑や田んぼ、住宅など生活の場所もロケ地の候補になります。応募いただいたロケ地は、承諾後、あきる野フィルム・コミッションホームページ上で公開し、映像制作者に向けて情報発信します。

ご協力いただける方は、あきる野フィルムコミッションホームページ記載の「ロケ地募集にあたっての注意事項」を確認し、「ロケ地登録用紙」に必要事項を記入の上、メールで応募してください。画像データがある場合は、添付してください。

▽申込み・問合せ 観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係(✉akiruno.film.com@gmail.com)

フィルム  
コミッション  
ホームページ

ロケ弁当販売店を  
募集しています

市では、地域の魅力発信や観光PRなどを行うことを目的として、市内での映画やテレビの撮影を誘致、支援しています。その中で、撮影スタッフなどが食べるロケ弁当について、撮影現場までの配達や数十食以上の注文などに対応可能な販売店を

募集しています。

▽募集条件

●市内の販売店であること

●1回30～100個程度のロケ弁当の販売が可能であること

●撮影現場までロケ弁当の配達が可能であること

▽撮影現場は市内に限ります。

▽申込み方法 登録を希望する販売店は、「お弁当店登録用紙」に必要事項を記入し、店舗とお弁当の写真を添付し、メールで応募してください。

※「お弁当店登録用紙」は、あきる野フィルムコミッションホームページからダウンロード

できません。

▽その他

●登録した販売店は、あきる野フィルムコミッションホームページで紹介いたします。

●ロケ弁当の注文は、撮影スタッフが直接連絡します。

▽申込み・問合せ 観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係(✉akiruno.film.com@gmail.com)

フィルム  
コミッション  
ホームページ

森林レンジャーがゆく (135)  
「ナラと共に」

高湿の時期がやってきました。深緑に染まった森の様子は、見た目以上に潜む生き物で忙しく、最も多様性に溢れている時期のひとつです。針葉樹の植林地の割合が高いあきる野においては、市内の森林の3割ほどとされている広葉樹林こそが、その多様性の大半を支えています。樹種が多いほど、多様性も高まります。その中で、どんぐりが実るブナ科の仲間には数多くの生き物が依存し、命を次世代に引き継いでいますが、数年前からの急激なカシノナガキクイムシの増加に伴うナラ枯れの影響で、そのブナ科の様々な樹種が大きなダメージを受けています。ある意味、自然の流れでしょう。近年の記録的高温がクイムシの分散と関連しているのではないかと、というほど両方は重なっている状況が続くことはどうしても気になります。

ブナ科のコナラやミズナラなどが多い森林には、ゼフィルスと呼ばれるミドリシジミ(チョウ)の仲間が生息し、その多くの種類は梅雨の時期を中心に発生するため、この頃の代表的な生き物です。しかし、ナラ枯れ被害と共に、これらのゼフィルスという「森の妖精」が激減することが考えられます。このため、今年はどれだけゼフィルスが出現するかを注意深く見ておきたいと思いますが、前期の越冬卵を見つける機会がとてま少なかつたことが気になっています。ホタルほど有名ではありませんが、広葉樹林を高速で飛び回る超小型のゼフィルスたちは正しく梅雨の風物で、この先も存続してほしい生き物であるだけでなく、森の貴重な指標種であるため、いなくなることは「森の悪化」という大きな意味を持つと思います。

あきる野には、白と黒のミズイロオナガシジミ、赤いウラミスジシジミやアカシジミ、翅表がコバルトブルーのオオミドリシジミなどのミドリシジミの仲間がいますが、今年も数多く姿を見せてくれるのでしょうか。

もし、人間の活動が温暖化を加速させているのであれば、それが様々な形で自然に変化を起こし、多くの生き物の絶滅の引き金となっていることが感じられます。目と耳を傾ければ、その悲劇を訴えているのは、メジャーな動物よりも、ゼフィルスのような小さな生き物の方がよほど多いように思います。

(パブロ)



梅雨の広葉樹林の代表的なチョウ ミズイロオナガシジミ

(以下は広告枠です)



あじさいまつり  
第48回

開催期間 2024年6月8日(土)～7月7日(日)

開催期間中は無休

開催時間 9:00～17:00 (ハイキングコースは16:30まで)

開催場所 わんだフルネイチャーヴィレッジ(東京サマーランド)

入園料金 おとな(中学生以上):850円/こども(小学生以下):無料

※犬をお連れのお客様は「わんだフルネイチャーヴィレッジ専用入園口」をご利用ください。犬の入園料が別途必要になります。また、1年以内の「狂犬病予防接種注射済証」「3種以上の混合ワクチン予防接種証明書」を必ずご提示ください。



WNVあじさい

検索

☎ 042-558-6511

